

平成28(2016)年度 日本学生支援機構「第一種」奨学金

業績優秀者返還免除推薦者の募集について

日本学生支援機構から、大学院で2004年度以降「第一種」奨学生に採用され、今年度中に貸与が終了する方を対象に、「特に優れた業績による返還免除制度」の推薦依頼がありました。この制度は、貸与を受けた当該課程において特に優れた業績をあげた者であると日本学生支援機構が認定した場合、貸与を受けた奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。返還免除希望者は下記により申請してください。

なお、旧日本育英会における2003年度以前の「第一種」奨学生採用者については、直接、日本学生支援機構へ手続等の照会を行ってください。

記

1 申請資格

次の①②③の条件をすべて満たす者

- ① 2004年度以降の大学院「第一種」奨学金採用者で、2017年3月までに貸与が終了する者。2016年度内の退学・貸与辞退等により貸与が終了した（する）者も含まれます。
- ② 貸与終了時に在学している課程で特に優れた業績をあげた者。
- ③ 返還誓約書を提出済の者。

※貸与が終了した年度に限り申請できます。

2 本学への推薦依頼数

修士課程 38名 博士後期課程 2名 (2016年12月時点)

3 選考対象となる業績および選考方法

以下の項目について、在籍している課程における教育研究活動等または専攻分野に関連した学外における教育研究活動において優れた業績をあげた者の中から研究科長会議で返還免除候補者を選考し、日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考委員会において審議した上、推薦候補者を決定します。

- (1) 学位論文、その他の研究論文（学位論文、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載・表彰等）
- (2) 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果（経済学研究科（夜間・MAプログラム）及び国際日本学インスティテュート及び国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、政策科学研究科及び公共政策研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」が該当します。）
- (3) 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果
- (4) 著書、データベース、その他の著作物（上記(1)(2)に掲げる論文等のほか、専攻分野に関連した著作、データベース、その他の著作物等）
- (5) 発明（教育研究活動の成果としての特許・実用新案等）
- (6) 授業科目の成績
- (7) 研究又は教育に係る補助業務の実績（RA、TA等による補助業務）
- (8) 音楽、演劇、美術、その他芸術の発表会における成績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な発表会等）
- (9) スポーツの競技会における成績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における主要な競技会等での結果）
- (10) ボランティア活動、その他の社会貢献活動の実績（教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績）

4 申請書類

返還免除希望者は以下の書類を提出してください。

- (1) 平成28年度 業績優秀者返還免除申請書(様式1-1、両面)・・・下記9の窓口配布または大学院 HP (<http://www.hosei.ac.jp/gs/>) から Excel ファイルを各自ダウンロードしてください。
 ※必ず両面印刷にすること。
- (2) 「指導教員等の推薦理由」(様式1-2、片面)・・・配布方法は上記(1)に同じ。片面印刷。
- (3) 大学院における成績証明書(現課程のもの、原本、最新のもの)
- (4) 特に優れた業績を証明する書類(業績欄で○を付したものはすべて必要)
 ※3-(1)～(4)で冊子等を提出する場合は、ご自身が掲載したことがわかる部分(表紙・目次・本文等)をコピーして提出してください。
 ※3-(6)については成績証明書のコピーで可。
- 上記4-(1)～(4)について本書1部、コピー1部の計2部提出してください。

5 「業績優秀者返還免除申請書」「指導教員等の推薦理由」作成要領等

記入例1を参考にし、以下の点に注意して記入してください。用紙の貼付、別紙の添付は認められません。

(1) 「業績優秀者返還免除申請書」(様式1-1、両面)

| | |
|--------------|---|
| 日付 | 書類提出時の日付を記入してください。 |
| 氏名 | 氏名は必ず直筆で記入をしてください。 印鑑は認印で構いませんが、シャチハタ印は認められません。 |
| 大学院名 | 「法政大学大学院」と記入してください。 |
| 研究科名専攻名 | 専攻がある場合は、必ず専攻名も記入してください。 |
| 奨学生番号 | 奨学生証等で確認し「6」からはじまる11ケタの番号を記入してください。 |
| 現住所 | 現在あなたが大学に登録している住所を記入してください。 |
| 大学院における研究課題等 | ご自身の研究テーマとその概要を記入してください。 |
| 教育研究活動等の業績 | あなたが「特に優れている」と思われた項目に○を付けてください。 ○を付けた項目については、それを証明する資料を必ず添付しなければなりません。 |
| 特に優れた業績の要旨 | 「教育研究活動等の業績」で○を付けた項目について、説明してください。 必ずこの用紙に記入してください。別紙参照は認められません。 ここに記入した内容については、それを証明する資料を添付する必要があります。 <u>記入例1</u> を参考に箇条書き等 (<u>記入例1</u> 様式1-1裏)で見やすくし、その業績を証明する添付資料と対応する番号を付して、第三者にわかるよう記入してください。 |
| 返還誓約書の提出について | 必ずいずれかの□にレ点を記入してください。 返還誓約書の提出は必須です。 |

(2) 「指導教員等の推薦理由」(様式1-2)

- ①あらかじめ指導教員に依頼し、申請書と一緒に提出してください。出張等で指導教員が不在になるような場合でも締切日の延長はできません。
- ②指導教員等の「職名」については「法政大学〇〇学部教授」等と記載してもらってください。
- ③氏名は直筆で記入し捺印(シャチハタ等スタンプ印不可)してもらってください。
- ④推薦理由を申請者本人に開示しなくても提出できるよう別用紙になっていますので、厳封して提出することも可能である旨を必要に応じて指導教員に伝えてください。

6 業績を証明する書類

(1) 下記2つの条件を満たさなければ、「業績を証明する資料」として添付できませんので注意してください。

条件1. 奨学金貸与期間中における業績であることが、客観的に分かること

年月日とあなたの名前がわかるように、必ずマーカーで印を付けてください。

※貸与期間以外（修士学生は学部生、博士学生は修士・博士）の実績は、認められません。

条件2. 専攻分野に関連した、教育研究活動の成果であること。「音楽、演劇、美術その他芸術」「スポーツの競技会」「ボランティア活動」等での業績は特に注意してください。

(2) 提出された書類は一切返却できません。

(3) 特に優れた業績を証明する資料一覧表を作成し、表紙としてつけてください。（次ページ以降の記入例、注意点参照）

④ 審査中の論文や印刷中の著書等も対象になりますが、必ずその旨（印刷中等）を記入してください。

修士・博士論文作成途中の場合も同様です。

⑤ 「教育研究活動等の業績」項目①～④で冊子等を提出する場合は、ご自身が掲載したことがわかる部分（表紙・目次・本文等）をコピーして提出してください。

「教育研究活動等の業績」一覧表

| 「教育研究活動等の業績」項目 | それを証明する資料等 (例) |
|-----------------------------------|--|
| ① 学位論文その他の研究論文 | <ul style="list-style-type: none"> ・学位論文 表紙（タイトル、本人氏名、指導教員名） 内容（概要又はアブストラクト等） ・学術論文 表紙（雑誌名、発行巻数等のわかるもの）、目次、内容等のコピー。 投稿中論文の場合は受理証明書などのコピー。 ・学会発表 プログラムの表紙（ネット登録の場合も、日時・学会名、開催場所のわかるもの）、目次、内容（概要、アブストラクト等プログラムに掲載されている部分）等のコピー。 今後予定されている学会等の場合はエントリー通知や学会レジユメのコピー。 ・学会での表彰 年月日がわかる表彰状等のコピー。 |
| ② 大学院設置基準第16条に定める特定 の課題についての研究の成果 | 経済学研究科（夜間）及び国際日本学インスティテュート及び国際政治学専攻の「リサーチペーパー」、政策科学研究科及び公共政策研究科の「政策研究論文」、日本文学専攻の「文芸創作」「研究副論文」 |
| ③ 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果 | ・成績証明書 |
| ④ 著書、データベースその他の著作物 | ・表紙、目次、内容 |
| ⑤ 発明 | ・出願資料、登録ナンバー等 |
| ⑥ 授業科目の成績 | ・成績証明書 のコピー |
| ⑦ 研究又は教育に係る補助業務の実績 | ・T.A.勤務届等の直近月分のコピー |
| ⑧ 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績 | ・表彰状等 |
| ⑨ スポーツの競技会における成績 | ・表彰状等 |
| ⑩ ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事 ・表彰状等 |

記入例

特に優れた業績を証明する資料一覧表

| | |
|--------|-------------|
| 研究科・専攻 | 〇〇学研究科・□□専攻 |
| 課程 | 修士（博士前期）課程 |
| 学生証番号 | 15R〇〇〇〇 |
| 氏名 | 法政 太郎 |

- ①修士（博士前期）課程
 - ②博士（博士後期）課程
 - ③専門職学位課程
- の別を記入すること

「教育研究活動等の業績」一覧表の番号を記入すること

資料1 ①-1 修士論文

「エコロボット製作における社会への役割」
作成年月：20××年2月

(項目番号-枝番号)

論文・著書・受賞の場合
・作成年月や受賞年月

を記入すること

資料2 ①-2 学会誌への論文掲載

名称等：「日本ロボット工学研究会」第10巻 p.120-131
発行年月日：20××年4月10日

資料3 ①-3 学術論文への論文掲載

名称等：「Robotics Society of Japan」
レフェリー付 第38巻2号 p.24-30

発行年月日：20××年5月10日

資料4 ①-4 国内学会での研究発表

開催地：東京都千代田区
開催時期：20××年6月10日～12日
学会名：東京ロボット製作学会
発表者：*法政 太郎、育英 太郎、小金井 丸子
発表内容の資料：講演要旨集 p.20-25

資料5 ①-5 国内学会での研究発表

開催地：東京都小金井市
開催時期：20××年5月8日、9日
学会名：全国ロボット学会
発表者：*法政 太郎、市ヶ谷 次郎、多摩 花子
発表内容の資料：予稿集 p.20

資料6 ①-6 国際学会での研究発表

開催地：The United States of America California University in Los Angeles
開催時期：20××年6月2日～4日
学会名：Robotics Society of The world
発表者：*Taro Hosei、Jiro Ichigaya、Hanako Tama
発表内容の資料：p.98-100

学会誌・学術論文の場合

・名称・巻・号等
・発行年月日

などを記入すること

学会等での発表の場合

・開催地
・開催時期
・学会名
・発表者
・発表内容の資料ページなど

を記入すること

資料7 ⑥-1 成績証明書

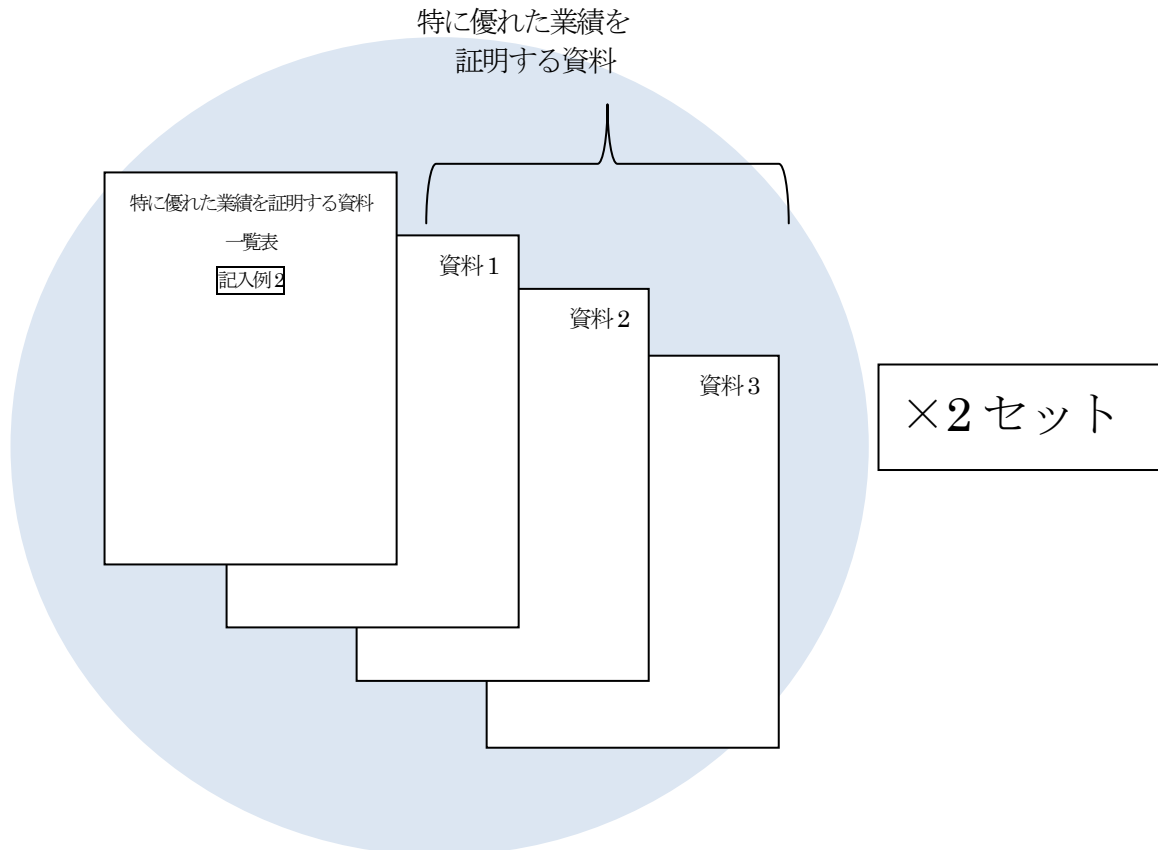
資料8 ⑦-1 TAによる補助業務

T.A.勤務届等の直近月分のコピー

注意) ※共同発表、共著の場合は自分の氏名にマーカーを引いてください。
※日付や年度にマーカーを引いてください。

特に優れた業績を証明する資料提出時の注意点

①資料は下記の順に並べて提出してください。



- ②資料の右肩に資料番号を記入すること。(複数枚の場合は一枚目だけ記入)
- ③複数枚の場合はホッチキス等で資料毎にまとめておいてください。
- ④共同発表、共著の場合は自分の氏名にマーカーを引いておいてください。
- ⑤日付や年度にマーカーを引いておいてください。

7 申請期限

2017年1月16日(月) 17:00

8 返還免除者の決定

各大学からの推薦者について、日本学生支援機構が設置する認定委員会の議を経て、特に優れた業績を挙げた者の認定並びに奨学金の全額免除及び半額免除が決定されます(機構から申請者への最終結果通知は、2017年6月中旬を予定)。

9 申請書類配布・提出・問合せ先

市ヶ谷キャンパス 大学院事務部 大学院課 03-5228-0551
大学院事務部 大学院課 政策創造研究科担当 03-5228-1640
大学院事務部デザイン工学研究科担当 03-5228-1429
多摩キャンパス 学生センター 多摩学生生活課 042-783-2152
小金井キャンパス 学生センター 小金井学生生活課 042-387-6011

※受付時間は、各提出先の窓口取扱い時間となります。

以上